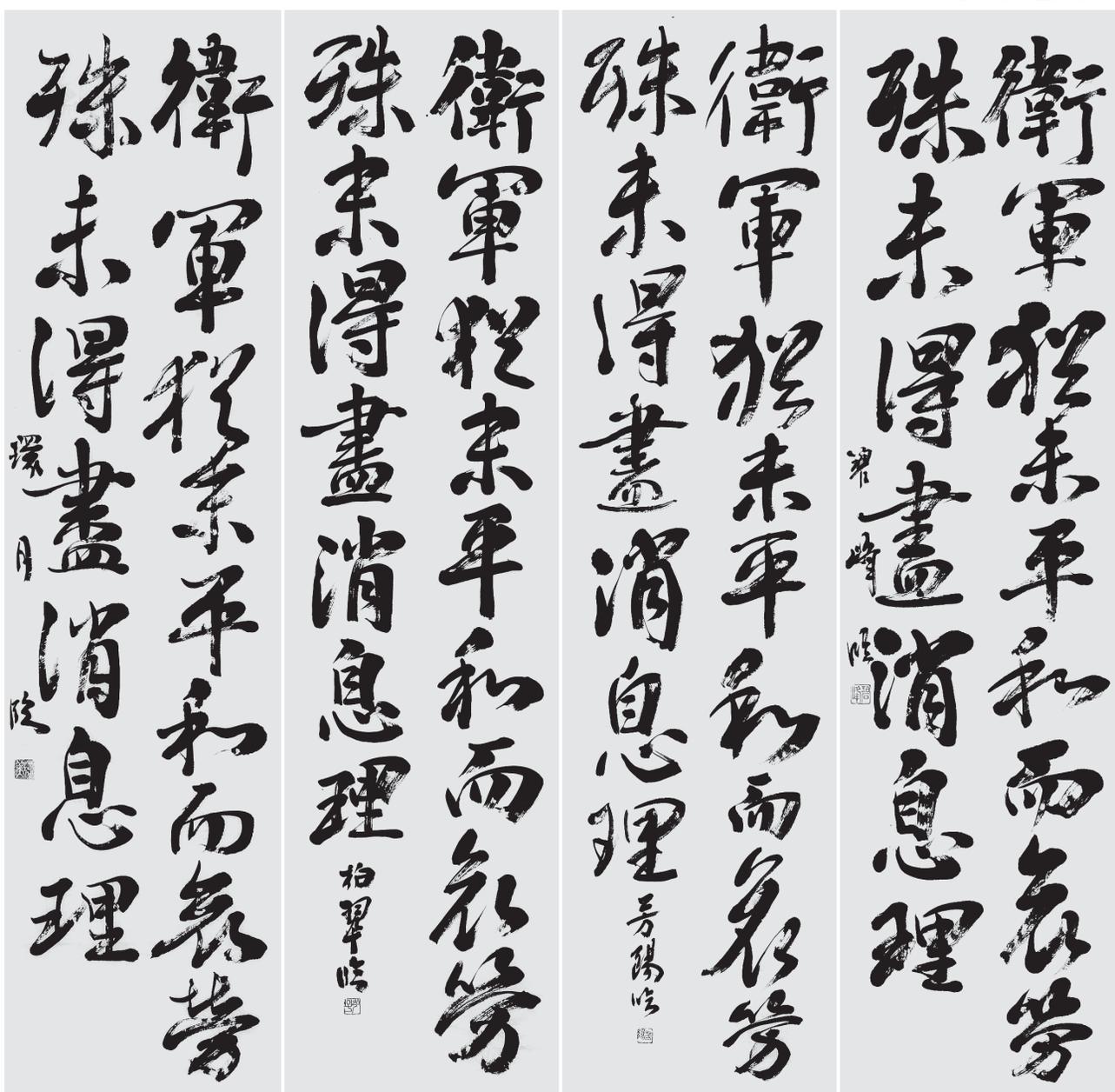




江幡太瓏先生選評



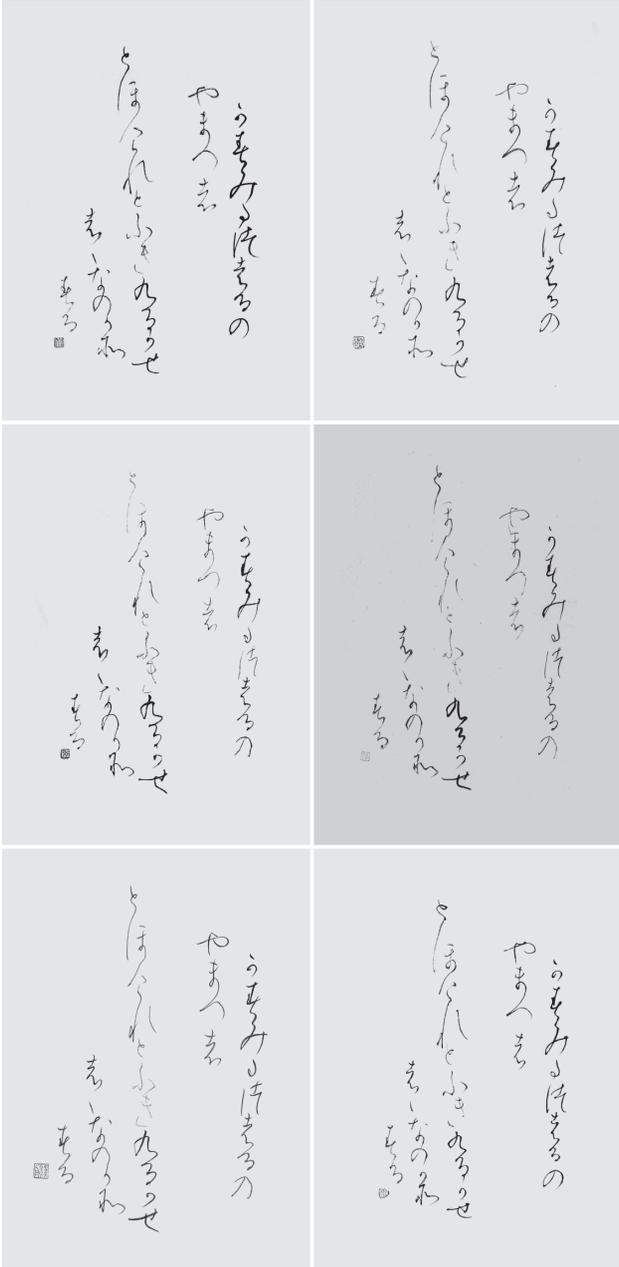
藤井碧峰 推選  
墨量充分で素晴らしいリズムで書けています。二行目渴筆と小さい字が入れば更に良かったと思います。

鈴木芳陽 推選  
独自のリズムで心地良く書けています。隣の行を見ながら潤渴が欲しかった。

藤平柏翠 推選  
握り柔らかく温かい線で書けています。遅速の変化と渴筆、大小がつけば更に良いと思います。

高橋環月 推選  
弱冠筆立ってますか？草書ですら寝かせすぎよりはいいと思いますが。慌てずゆっくり書いた渴筆が魅力です。落款「月」はもう少し下かな。

吉田久実子先生選評



**足立和恵** 準六  
濃墨で書かれリズムミカルな運筆は作品を格調高く見せている。五行のまとも佳く転折の軽やかさが魅力。「介」もう少し小さめに。

**山本彩光** 準五  
強弱の変化、潤濁の配分、流れ、すべての的を得て書作に取り組む真摯な姿に打たれる。更に運筆に緩急をつけることより趣ある作に。

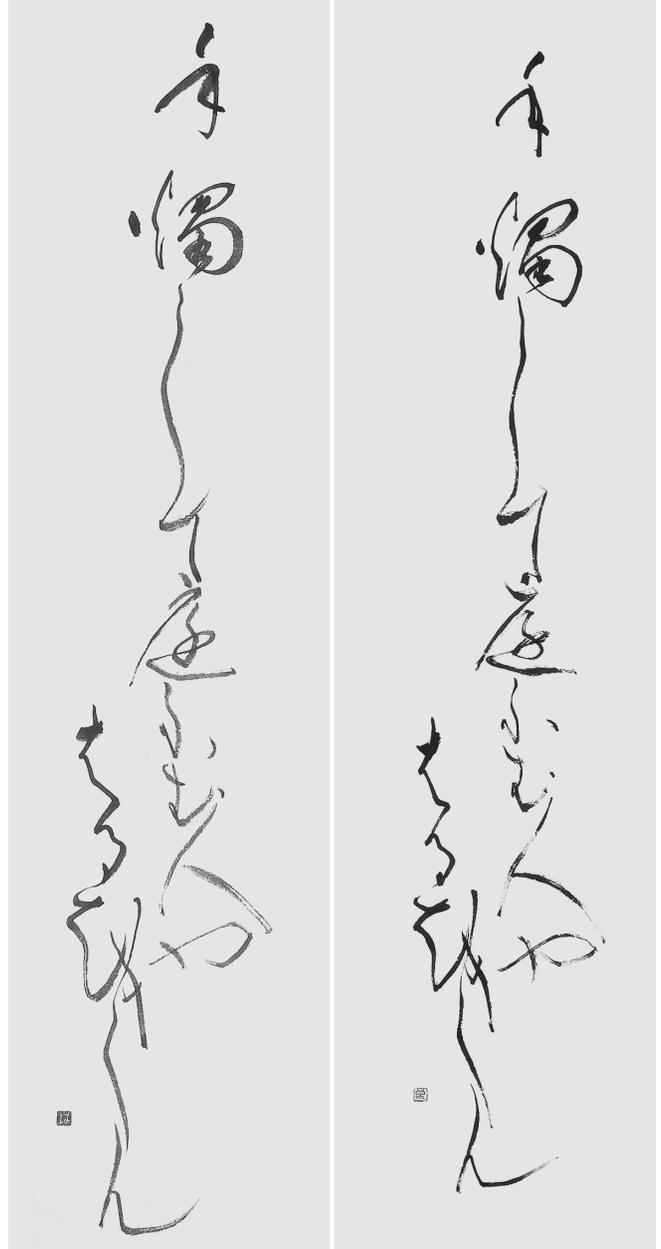
**林 溪舟** 準四  
暢達した線、滑らかな筆運びに筆者の古筆に臨む姿勢の確かさが伝わる。又作品全体から受ける明るさから「かな」が生まれた時代の喜びを感じる。

**鈴木照代** 師範  
古筆のゆつたりと伸びやかな線の特徴を見事にくみ取り、ふところの広い字形も的確、潤濁の変化も美しい。あと一歩筆勢が加われば更に佳。

**井上清芳** 八段  
静かに始まり後半強く弾けるまどめは作品効果が高い。優しく運筆する線は温かい。更に前半にも細太を読みとり筆圧を加えてより深い展開に。

**山本弘美** 準七  
正確にそして着実に引かれる線から日頃の習熟の深さを観る。古筆の筆者が楽しく繰り出している線条を見事に自分のものにして表現している。

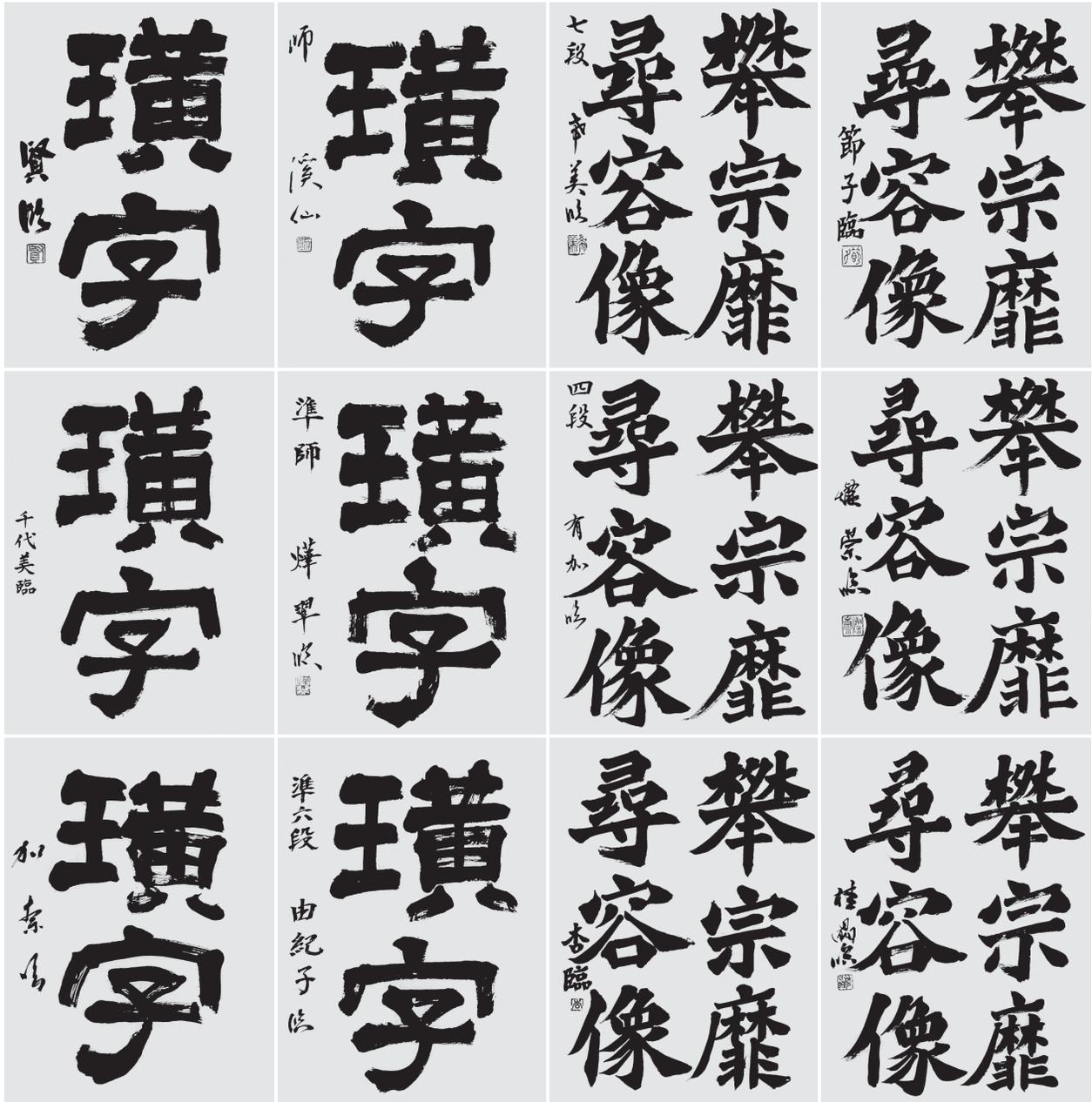
久保田淳子先生選評



**川島良子** 推選  
さり気なく運筆。しかしよく気脈の通じた銜いのない作品に惹かれる。句意に共感して書作され、素直に構成する事が自然なリズムとなつて表現されて居る。

**広瀬洋子** 推選  
起筆から弾力ある豊かな線が続き、作者の広い気持ち伝わる。やや字形は大き目ながら、白とのバランスもよく、のびやかな好感を持たれる作品となつた。

加藤有鄰先生選評



**小栗節子** 師範  
落筆高く、豪快な筆致で運筆されており、始平公の趣を存分に表現しています。直筆と側筆の使い分けも程よい。

**近藤希美** 七段  
やや字粒が大きいがか、だがそれを上回る強固で隙の無い凛とした線が堅城なる作品を作り上げる。

**倉嶋溪仙** 師範  
堂々たる筆さばきで頑丈で豊かな隸書を表現しています。強い起筆からの運筆がスムーズで心地良い。落款やや弱い。

**天野賢** 三段  
横画の密度の濃さ、強靱だが温かみのある線、豊かな墨量と、鮮于璜の臨書表現として佳作であります。

**今村燦崇** 師範  
運腕が大きく、豊かで温かな線で運筆し、強さと構築性をしっかりと表しています。形体も確かで安定している。

**並木有加** 四段  
伸びやかで特に左右の払いが良く、健康的な作品です。用筆も安定しており、強弱の減張がリズムカルに流れる。

**若槻燦翠** 準師  
やや筆の握りが堅いのかと想像されるが、強靱な横画が鮮于璜の特徴を良く捉え、強固な作品となりました。

**佐々木千代美** 準三  
優しい感もするが、確実な筆法で揮毫されており形体も正確に書き上げています。日頃の修練が傑作を作り上げました。

**堀 桂晶** 師範  
造像記の特徴である求心性と粗密のバランスが良く、線も澄みきつっており、余白が美しく響きあう。

**圖師杏子** 一級  
一本一本の線を大事に正確に運筆しており、美しい形体を表現しています。級位ながら円熟とした佳作に感じました。

**大塚由紀子** 準六  
大きな運腕から導かれる大胆さと線の明るさが、作品を際立たせ、余白を凛として響かせる。安定した形体である。

**古瀬加奈** 三級  
豪快な書き振りに怖じせず高い落筆を求め、法帖の豊かさを存分に表現しています。